

第4回「地域共生セミナー」開催！



《講演》

～女性の政治参画～市民から市議へ～議員の役割、議員の仕事

1月17日（土）市民会館おおみやレイボックホールで「第4回地域共生セミナー」を開催しました。

今回のセミナーはJR東日本輸送サービス労働組合大宮地方本部のご協力を得て、さいたま市議会議員・佐伯かずみ氏（JTSU議員懇談会 会員）をお招きし、「女性の政治参画～市民から市議に～議員の役割、議員の仕事」と題してご講演を頂きました。

このセミナーの前段では、さいたま車掌区分会の皆さんを中心に大宮駅西口で京浜東北・根岸線のワンマン運転に関するビラ配布行動も行い、ワンマン運転の問題を訴え利用者の「声」を聞く取り組みも展開しました。

さいたま市議会議員
（JTSU 議員懇談会 会員）
佐伯 かずみ氏

講演では、佐伯さんがさいたま市議会でも実現してきた取り組みについての報告を受け、「議員の仕事は「話を聞くこと」、「個人の課題＝社会の課題。だから議員はその声を届けることが重要」との提起をいただき意見交換を行いました。

佐伯さんは講演の間に、地域の方々やJTSU参加者がグループに分かれて感想や意見・質問などを気兼ねなく話し合えるディスカッションの場面を設けていただくなどの工夫をしていただき、みんなが楽しく和気あいあいと交流ができる雰囲気も体感できました。また、東京都議会議員・もり愛氏（JTSU議員懇談会 会員）にも駆けつけていただき、地方自治の課題について参加者と議員が一緒になって考えることができたことで、地域の方々とJTSU議員懇談会の皆さんがつながって地域の課題を話し合い解決していく重要性を深めることができたセミナーとなりました。

私たちが仕事や生活をしている地域の課題は「社会の課題」でもあります。そこに目を向けてどのように解決をしていくのかを、JTSU議員懇談会のみなさんや地域と方たちと一緒に考えて行動する「社会連帯の輪」をつくり、安心して暮らせる社会のあり方を考える有意義なセミナーをつくり出すことができました。



JR 大宮駅西口でのビラ配布行動



東京都議会議員・もり愛氏と一緒に地方自治の問題について意見交換も行いました。



失語症の方の意見を取り入れ、2022年の議会で実現した「災害時障害者支援バンドナ」を実際に紹介していただきました。